

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 30 日作成)

委員会名	高強度コンクリート研究小委員会	主 査 名：山崎 庸行
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工本委員会 (鉄筋コンクリート工事運営委員会)	委員長名：嵩 英雄
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2006 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>「高強度コンクリートの調合・製造・施工指針(案)」を作成する。</p> <p>2003 年度：「技術の現状」の見直し、問題点抽出、および指針作成の課題抽出</p> <p>2004 年度：課題検討、および指針の本文案作成</p> <p>2005 年度：本文・解説文(案)の検討と作成、講習会開催</p>	
委員構成 (委員名(所属))	清水昭之(東京理科大学) 大野義照(大阪大学) 榊田佳寛(宇都宮大学) 依田和久(鹿島株)、一瀬賢一(株大林組)、並木哲(大成建設株)、西田朗(清水建設株)、三井健郎(株竹中工務店) 小室努(大成建設株) 志村明春(? 建材試験センター) 古賀康男(株宇部三菱セメント研究所) 副田康英(関東宇部コンクリート工業株) 梅本宗宏(戸田建設株) 松尾茂美(株エヌエムビー) 玉井孝幸(工学院大学) 山崎庸行(清水建設株)	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2003 年度予算	100,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	第 1 回：8 月 4 日・4 名、第 2 回：10 月 30 日・7 名、第 3 回：2004 年 1 月 28 日、12 名、第 4 回：2 月 27 日・10 名、第 5 回：3 月 22 日・10 名
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>1. 「高強度コンクリートの技術の現状」の見直し、および問題点抽出</p> <p>1991 年に出版された「高強度コンクリートの技術の現状」は、設計基準強度 60N/mm² コンクリートを主体に記述されており、刊行後約 10 年間で開発された材料・施工技術に関して調査・検討し、まとめなおす必要がある。</p> <p>2. 「高強度コンクリートの調合・製造・施工指針案」の課題抽出および検討</p> <p>指針は、設計基準強度 36N/mm² を超え、100N/mm² 以下の範囲で作成することとし、調合、製造、および施工における本文・解説文案に関して検討し、作成方針を構築しつつある。</p>
	委員会 HP アドレス：なし
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>材料施工本委員会と鉄筋コンクリート工事運営委員会の要望により、「高強度コンクリートの調合・製造・施工指針案」の刊行スケジュールが 2005 年 2 月と大幅に早まった。このため、スケジュールは当初計画よりも進んでいる。</p>
その他評価すべき事項	「高強度コンクリートの調合・製造・施工指針案」講習会は、2004 年度支部共通事業講習会として実施することになった。